

## 気仙沼市における仕事創出プロジェクト「2012年7月現地視察・ヒアリングレポート」

2012年7月14日～16日、気仙沼市において現地視察とヒアリングを実施しました。  
実施者は茂木正光（国際ロータリー第2580地区 地区新世代奉仕委員会委員長）です。

目的；

「気仙沼市における仕事創出プロジェクト」における「8/25仕事創出プラン発表会」（東京開催）とその後の「9/29仕事創出プラン・プレゼンテーション」（気仙沼開催）のための気仙沼南ロータリークラブとの調整。

合わせて、「気楽会」代表との顔つなぎ、「角星」社長とのコミュニケーション（農業ラジオ取材について出演者の紹介依頼）、および、気仙沼の近況調査。

結論；

気仙沼のロータリアンとお話ししていて気仙沼の支援先検討とか、気仙沼のイベント、ボランティアの情報を地元の方々が知らないという現実がありました。情報の収集、分析（整理）、そして、発信ができる人材が必要と痛切に感じました。合わせて、企画力と行動力を持つ人材も必要です。



南気仙沼駅周辺で撮影

行程；

- 7 / 1 4 ①復興屋台村気仙沼横丁「うどん みずき」→②「一景閣」周辺を散策→  
③「気仙沼イオン」→④田中前の商店街を散策→  
⑤田中前「喜乃や」（気仙沼南 RC との懇親会）
- 7 / 1 5 ⑥「岩井崎」→⑦松岩「お福」（気楽会代表とホルモンランチ）→  
⑧「さかなの駅」→⑨「お魚いちば」→⑩「補陀寺」（気仙沼南 RC 千葉会長）  
→⑪「松岩寺」（気仙沼南 RAC 小黒澤さん）  
→⑫南町「ぴんぼん」
- 7 / 1 6 ⑬気仙沼漁港周辺を散策→⑭気仙沼プラザホテル（気仙沼 RC 斉藤前会長）  
→⑮気仙沼復興商店街南町紫市場「あさひ寿司」

レポート；

気仙沼は夏でも涼しい。浜風によって。ただし、やませが吹いて寒いときもある。  
宿泊施設が徐々にだが復旧してきている。  
かさ上げ工事の遅れはかなりの関心事。

ガイドをしてくれた気仙沼のローターアクトより。

「東京から気仙沼に戻ってすぐに東日本大震災が発生したので、いまの気仙沼が昔からそうだったような気がする」というポツリとした一言が印象的でした。

7 / 1 4

①復興屋台村気仙沼横丁「うどん みずき」

こちらはフカヒレ加工会社「石渡商店」

9月中旬に横浜高島屋、下旬に石神井公園（東京都練馬区）「うどんファンタジスタ」でうどんを打つことになったとか。人手を借りたいという話しあり。

今月中に、石渡商店の新工場は建設業者から引き渡し。ただし、機械はまだ入っていないとか。

池袋東口「宮城ふるさとプラザ」への出展を考えているとか。



②「一景閣」周辺を散策

河北新報の気仙沼支社付近にて、Youtubeにて配信されていた津波が迫る映像の撮影ポイントを発見。

中央公民館が解体工事に入っていた。それにしても、南気仙沼という街があったはずなのに、何も無い。



「一景閣」。周辺に建物ほとんどなし。3階の手前まで津波が来た様子。



玄関は裏手に設置。元々の玄関は使えず。

個室のトイレ、洗面は使えるが、シャワーは使えず。6階の大風呂を使用。

ただし、WIFIはつながる。

このホテルの経営者の旦那さんが建設業なので再開できた。旦那さん関連の業者も泊まっている。

一景閣からの夜景。周辺に街灯はほんのわずか。カエルの鳴き声が聞こえる。

なお、古町の旅館「かどや」（老朽の2階建。商人宿てきな）、再開とか。工事を行っていた。

③「気仙沼イオン」



ここの駐車場が車の洗濯機状態になっていたとは。

気仙沼の地元スーパー「片浜屋」に比べて気仙沼色が薄い。魚介類も決して気仙沼産は多くない。

しょう油、みそも、大手メーカー以外であるのは陸前高田の八木澤商店や、東松島の長寿みそなど。ただし、鰹節の種類が豊富。気仙沼産のものもある。

④田中前の商店街を散策

地元のお店だけでなく、大手チェーンの飲食店、コンビニ、量販店もある。

ここだけ見ると、津波の大被害が遭った街に見えない。

気仙沼のローターアクトも「この商店街だけ見ると、よその少し寂れた地方の商店街と変わらないのに」とポツリと話していた。

⑤田中前「喜乃や」(気仙沼南 RC との懇親会)

かつおの刺身、たいへん美味。ほかの居酒屋でもお薦めは旬のかつお。

お酒は「男山」にて。

「8/25 仕事創出プラン発表会 (東京開催)」について説明、了承。

「9/29 仕事創出プラン・プレゼンテーション (気仙沼開催)」について説明、了承。



かさ上げ工事の遅延について議論。

最低賃金と生活保障について議論。

また、当方が気仙沼仕事創出 FB ページに上げた「気仙沼サイクリングマップ」(気仙沼観光協会のもの。早稲田大学のボランティアが作成)が話題になっていました。「誰が」とか「どうして」とか。

気仙沼におけるボランティアや支援の情報は地元の方々が知らない様子。

7 / 15

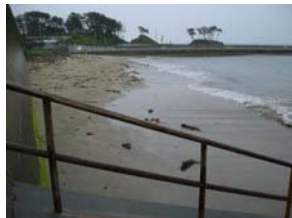
⑥「岩井崎」

このあたりは3月に来たころのまま。道路もぼこぼこ。復旧は後回しの様子。

観光客がけっこう来ていた。



岩井崎近くのお伊勢浜海岸。砂浜の砂が流されるとともに、地盤沈下。自然の復旧に2～3年かかるとか。



なお、気仙沼大島の海岸がこの夏、唯一、営業再開とか。

⑦松岩「お福」(気楽会代表とホルモンランチ)

こちらのホルモンは入門編。マイルドにて甘め、そしてうま味がある。

お店によって味はかなり違う。



こちらのお店はもともと海岸の近くにあったため、津波の被害を受けた。現在は、内陸側、気仙沼バイパス沿いにお店を移して営業している。

気楽会は6年前に5人からスタートした。

ルールは毎日順番に **BLOG** を書くことと、毎週例会を開催すること。

気仙沼では花見（大川の）とホルモン **BBQ** がセット。

気楽会にて気仙沼ホルモン・マップの作成をスタート。その当時は、ホルモンは気仙沼市内に17店あった。

東日本大震災以降、「気仙沼観光課」という気仙沼の商店主らと一緒に被災地を歩くツアーを開催している。毎月約10人がネットから申込み、このツアーに参加している。

気仙沼について共に考える機会を提供している。そして、自分の問題解決のヒントにもして欲しいとの思いで続けている。

観光とは違う、新しいツーリズムの予感。

#### ⑧「さかなの駅」

津波でお店を失った魚屋などの仮店舗が入っている。



もともと気仙沼で造っていた酒盗は小田原産が出回っている。

元々は気仙沼で造っていた「ばくらい」もない。

ほやは高騰。養殖ものが津波の被害に遭ったため。店頭にあるものは小ぶりか。

ほやぼーやを発見。



⑨「お魚いちば」

駐車場、満車。鹿児島ナンバーの車も駐めてあった  
気仙沼で造ったほやの塩辛の瓶詰あり。

⑩「補陀寺」(気仙沼南 RC 千葉会長)



今晚、高校生の宿泊があるとか。震災直後も高校生が避難していた。  
日経ウーマンの「おとなの修学旅行」。毎月開催している。このお寺もコースに入っている。リピーターがいる。  
心に焼き付け、東京で伝えてほしいと法話している。

気仙沼の情報について。地元の人がボランティアやイベントなど知らない。

⑪「松岩寺」(気仙沼南 RAC 小黒澤さん)



震災時のお話し。3/11、耐震工事の会議をしていた。大地震後も住職は会議を続けた。6Mの津波警報後も会議を続けた。

寺内出て、海のほうを見る。お寺の門の10M手前まで津波が来る。

より高台の小学校に避難。

電気、水道、1週間止まる。

現在も遺骨を預かっている。お墓がない。お金がなくてお墓を立てられない。

⑫南町「びんぼん」



モーカの星（モーカザメの心臓）をいただく。こりこりとした食感。



アワビ、ホタテ、マグロ、カツオ、イカ、エビの刺身盛り合わせ（2,000円）をいただく。

お酒は「両國」にて。

たまたま相席になった菊田清一さんとお話する。本吉の消防本部長。ガイドをしてくれた気仙沼のローターアクトのお父さんの高校時代の先輩。

阪神淡路大震災とは違うというお話をいただく。

※ 菊田さんの Youtube データ

<http://www.youtube.com/watch?v=cAbldoSZKAo>

22時ごろ、気仙沼横丁と紫市場を回る。閉店時間だったが、賑わっていた。

気仙沼横丁ではカエルが鳴いていた。

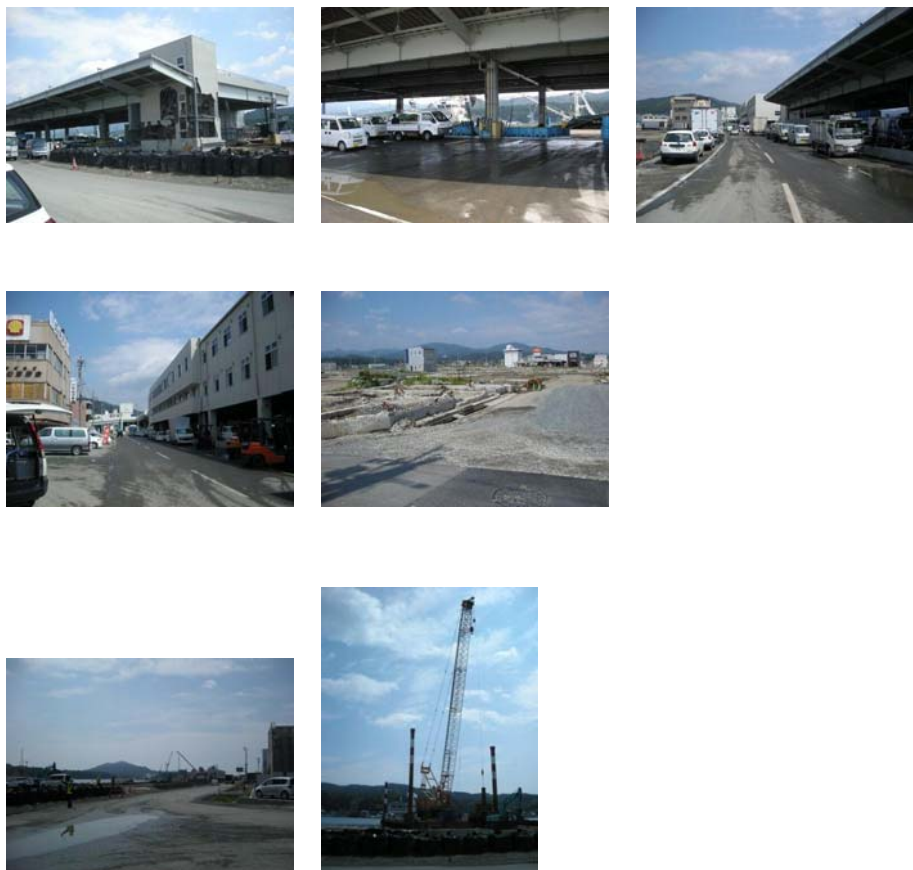




7 / 16

⑬気仙沼漁港周辺を散策

気仙沼漁港は水揚げで賑わっていた。しかし、漁港周辺には建物などは少なく。



⑭気仙沼プラザホテル（気仙沼 RC 齊藤前会長）

すごく見晴しが良い。お魚いちばの阿部長商店が経営。

物的支援はやはり充足しているとお話し。むしろ気仙沼にて支援先を探すのが難しい。被災地のニーズとか言われてもその把握が難しい。

また、ボランティアも社会福祉協議会が人数は把握しているかも知れないが、それ以上の情報はないのではないかと。

教育関連への支援は充足した。これからは漁業など産業関連への支援かと考えている。

ここで、気仙沼市における仕事創出プロジェクトについて説明。販路開拓的な要素にご理解をいただく。

農業ラジオの取材（9月予定）。県内酒造好適米「蔵の華」の耕作者組合をご紹介します。

湾内に6Mの防潮堤を建設する。かさ上げ工事は秋には決定とか。道路のかさ上げ工事を行う。私有地については所有者が自身でかさ上げ工事を行う（かさ工事を行わない場合は、道路と私有地との間にスロープが必要）。砂利はそれを取ることでできる山が気仙沼には既にあるが、土については新たに山を崩すしかない。

⑮気仙沼復興商店街南町紫市場「あさひ寿司」



気仙沼横丁方向へ200Mのところにもともとお店があった。津波によっても建物は無事だったが、建物内が被害。すし屋としての設備が使えなくなる。このため紫市場へ移転。



お寿司、いただきました。とても美味でした。  
なんとなく、シャリに東京で食べているときと違うような感じがあったので職人さんに聞いてみたのですが、北に行くほどにシャリは甘くなるとのことでした。砂糖が貴重だったころの名残だろうとのことでした。  
ちなみに、あさひ鮭は「ふかひれの軍艦巻き」が名物だったことに後で気付きました。

以上